



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成26年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	6,320	△2.8	470	959.1	2,127	27.4	1,361	45.0
26年3月期第1四半期	6,499	10.9	44	79.8	1,669	—	938	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,941百万円 (304.7%) 26年3月期第1四半期 479百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.66	15.58
26年3月期第1四半期	10.81	10.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	93,826	87,269	93.0	1,002.94
26年3月期	100,622	88,788	88.2	1,020.70

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 87,212百万円 26年3月期 88,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	41.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	3.5	2,200	33.3	3,500	△9.0	2,400	0.8	27.63
通期	38,000	1.1	8,000	12.0	11,000	2.5	7,000	0.9	80.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、 除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	89,769,479株	26年3月期	89,769,479株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,812,579株	26年3月期	2,834,138株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	86,938,931株	26年3月期1Q	86,826,563株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が和らぎ、個人消費に持ち直しの動きがみられるほか、雇用情勢や企業収益も改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。

ゲーム業界におきましては、ネイティブアプリを中心としたスマートフォンゲーム市場の拡大が続き、市場全体の成長を牽引しております。家庭用ゲーム市場におきましては、「PlayStation 4」の登場でハード市場が伸長いたしました。

このような経営環境下において、当社では経営方針「更なるIPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。成長分野であるスマートフォンゲームにおいて新規IPを創出するとともに、新ハード対応やアニメ化などを通じて既存IPの積極的な展開を進め、ブランド価値の向上に努めました。また、為替や株式相場が安定的に推移するなか、有価証券関連損益も収益に大きく寄与しております。これらにより、当社グループの当第1四半期業績は、売上高63億20百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業利益4億70百万円（同959.1%増）、経常利益21億27百万円（同27.4%増）、四半期純利益13億61百万円（同45.0%増）となりました。一部タイトルが発売延期となった影響から減収となったものの、オンライン・モバイル事業とSP事業の業績が大幅に伸長したことやコストマネジメント効果により収益性が向上し、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、第1四半期連結累計期間としては経営統合以来、最高の業績となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 35億63百万円 セグメント利益 1億10百万円

「信長の野望・創造」（PSVita用）を国内及びアジアで発売し、好評を博しております。

「Winning Post 8」（PS3、PSVita、Win用）をはじめとする旧作のリピーター出荷や、ダウンロードコンテンツ販売も伸長いたしました。さらに、TVアニメ「エスカ&ロージーのアトリエ ～黄昏の空の錬金術士～」を放送したほか、新ハード対応として「PlayStation 4」向けに「戦国無双4」、9月に発売予定の「Xbox One」向けに「無双OROCHI 2 Ultimate」「真・三國無双7 Empires」の2タイトルの発売を決定するなど、IPの展開・強化を進めてまいりました。

海外では、「新・ロロナのアトリエ はじまりの物語 ～アーランドの錬金術士～」(PS3、PSVita用)、当社開発タイトル「真・ガンダム無双」（PS3、PSVita用）が人気を集めたほか、STEAMで配信中の「真・三國無双7 with 猛将伝」（Win用）が、当社タイトルとして最大のダウンロード数を記録いたしました。

また、スマートフォンアプリとして一騎当千アクションゲーム「戦国無双 シュート」の配信を開始し、多くのお客様にお楽しみいただいております。

なお、「シャリーのアトリエ ～黄昏の海の錬金術士～」につきましては、さらなる品質向上のため、第2四半期に発売を延期いたしました。

オンライン・モバイル事業 売上高 16億59百万円 セグメント利益 3億38百万円

ソーシャルゲーム事業では、スマートフォン向け合戦パズルRPG「ぐんたま～軍師の魂～」をリリースいたしました。株式会社モブキャストと共同開発した携帯合戦シミュレーションゲーム「モバノブ」につきましても、サービス開始後1週間で登録会員数10万人を突破するなど、ご好評をいただいております。積極的なコラボレーション施策で売上を伸ばした「100万人のWinning Post」をはじめ、「100万人」シリーズは計画を上回り業績を牽引いたしました。「大航海時代V」におきましては、「Yahoo! Mobage」にて正式サービスを開始したほか、中国・台湾でのサービス開始が決定しております。海外ではグローバル戦略に則り、「のぶニャガの野望」をはじめとした各タイトルが計画を上回って推移いたしました。

コミュニティサイト「my GAMECITY」では、人気タイトル「AKB48の野望」を導入するなど、プラットフォームサービスを拡大したことにより、会員数55万人を突破いたしました。

オンラインゲーム事業においては、グローバルベースで各タイトルとも順調に推移しております。

以上の結果、増収増益を達成し、第1四半期連結累計期間としては経営統合以来、最高のセグメント売上及び利益となりました。

メディア・ライツ事業 売上高 3億53百万円 セグメント損失 13百万円

「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダ Featuring 至誠館高校」を開催し人気を博すとともに、CDやキャラクターグッズなど関連商品も好調な売上となりました。「100万人の遙かなる時空の中で」をはじめとするソーシャルゲーム売上も堅調に推移しております。また、TVアニメ「金色のコルダBlue♪Sky」を放送し好評を得ました。

なお、第2四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生しており、セグメント損失となっておりますが、前年同期に比べ売上高は伸長し、損失額は大きく改善いたしました。

SP事業 売上高 3億84百万円 セグメント利益 1億15百万円

パチンコ機「CR信長の野望 天下創世〜弑ノ陣〜」がリリースされました。パチンコ・パチスロ機の液晶ソフト受託開発が順調に進捗したことで収益性が向上した結果、増収増益を達成いたしました。

アミューズメント施設運営事業 売上高 3億85百万円 セグメント損失 8百万円

4月1日からの消費税率引上げに対し、売上対策やコスト削減などに注力いたしましたが、既存店売上が軟調に推移したことから、セグメント損失が発生しております。今後につきましては、販促企画を中心に集客力の向上に努めるとともに、グループIPを活用した新規ビジネスを展開してまいります。

その他事業 売上高 1億38百万円 セグメント利益 35百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して67億95百万円減少し938億26百万円となりました。これは主に、売掛金が51億円、現金及び預金が31億80百万円それぞれ減少した一方で、有価証券が15億62百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して52億76百万円減少し65億56百万円となりました。これは主に、未払金が21億67百万円、未払法人税等が16億56百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して15億18百万円減少し872億69百万円となりました。これは主に、利益剰余金が21億18百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が6億66百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月1日に公表した第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を加重平均期間法へ変更しております。

これに伴う当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及び当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,192	9,012
受取手形及び売掛金	8,755	3,654
有価証券	787	2,350
商品及び製品	183	162
仕掛品	17	159
原材料及び貯蔵品	96	99
繰延税金資産	826	496
その他	2,454	2,590
貸倒引当金	△40	△4
流動資産合計	25,274	18,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,857	9,732
その他(純額)	6,188	6,156
有形固定資産合計	16,045	15,889
無形固定資産		
のれん	1,090	983
その他	275	238
無形固定資産合計	1,366	1,222
投資その他の資産		
投資有価証券	56,905	57,193
更生債権等	2	2
繰延税金資産	211	190
その他	818	808
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	57,934	58,193
固定資産合計	75,347	75,305
資産合計	100,622	93,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413	332
未払金	2,837	670
未払法人税等	1,956	299
賞与引当金	822	424
役員賞与引当金	191	47
返品調整引当金	45	50
売上値引引当金	660	478
ポイント引当金	16	15
繰延税金負債	0	1
その他	2,179	2,103
流動負債合計	10,122	4,421
固定負債		
退職給付に係る負債	193	180
繰延税金負債	1,037	1,475
その他	480	479
固定負債合計	1,710	2,135
負債合計	11,833	6,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	48,036	45,918
自己株式	△2,200	△2,184
株主資本合計	86,535	84,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,322	3,988
土地再評価差額金	△3,100	△3,100
為替換算調整勘定	1,710	1,626
退職給付に係る調整累計額	267	264
その他の包括利益累計額合計	2,199	2,779
新株予約権	53	57
純資産合計	88,788	87,269
負債純資産合計	100,622	93,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,499	6,320
売上原価	4,208	4,238
売上総利益	2,290	2,081
販売費及び一般管理費	2,246	1,611
営業利益	44	470
営業外収益		
受取利息	471	454
受取配当金	217	342
投資有価証券売却益	1,237	924
その他	75	118
営業外収益合計	2,001	1,839
営業外費用		
有価証券評価損	332	21
デリバティブ損失	—	125
その他	43	35
営業外費用合計	376	182
経常利益	1,669	2,127
税金等調整前四半期純利益	1,669	2,127
法人税、住民税及び事業税	403	340
法人税等調整額	327	426
法人税等合計	730	766
少数株主損益調整前四半期純利益	938	1,361
四半期純利益	938	1,361

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	938	1,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△946	666
為替換算調整勘定	487	△84
退職給付に係る調整額	-	△2
その他の包括利益合計	△458	579
四半期包括利益	479	1,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479	1,941

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,127	1,331	209	336	420	6,424	74	6,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	70	0	—	—	108	23	132
計	4,164	1,402	210	336	420	6,533	97	6,631
セグメント利益又は損失(△)	165	196	△73	98	△10	376	19	395

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	376
「その他」の区分の利益	19
のれんの償却額	△351
四半期連結損益計算書の営業利益	44

(注) のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライツ	S P	アミューズメント施設運営	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,529	1,563	349	381	385	6,209	110	6,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	95	3	3	0	137	28	165
計	3,563	1,659	353	384	385	6,347	138	6,485
セグメント利益又は損失（△）	110	338	△13	115	△8	541	35	577

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	541
「その他」の区分の利益	35
のれんの償却額	△107
四半期連結損益計算書の営業利益	470

（注）のれん及び資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。